

さくら学園だより

庄内さくら学園中
学校だより
2021.4.12
No. 1

一人ひとりが強いつながりをもてる学校 ～「自治の力」を高め、未来を切り拓く～

新年度がスタートしました。庄内さくら学園中学校2年目が始まります。7日には、新入生である4期生118名を新しく迎えての入学式、8日には3学年そろって399名での始業式が行われました。それぞれ新しいクラス・学年となり、また新たな「出会い」の中で次のステージでのスタートを切りました。

さて昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、特に1学期はさまざまな行事や活動も中止あるいは縮小ということで、なかなか教育活動が進みませんでした。何とか授業については、集中して前向きに取り組む姿が見られました。2学期に入り、本校の学校スローガンの中身を歌詞に込められた「校歌」が完成した時に合わせた形で、ようやく行事への取り組みがスタートでき、『自治の力と仲間づくり』を少しずつ形になってくるようになったと思います。後期からは、生徒会活動も動き出し、年度末の生徒会役員選挙の立会演説会では、「自分たちの学校は自分たちの力で創りあげる」という気持ちを感じることが出来ました。

そういうことを踏まえ、今年度も昨年度に引き続いての学校目標・スローガン「一人ひとりが強いつながりをもてる学校 ～『自治の力』を高め、未来を切り拓く」と設定しています。2年目に入った庄内さくら学園中学校としては、特に『自治の力』を高めるということを重点課題に位置付けて取り組んでいけたらと考えています。つまり、自分たちのクラス、自分たちの学年、自分たちの学校は、自分たちの力で創りあげていくのだという思いを強くもって、さまざまな行事や活動だけでなく、日々の授業をはじめとする「当たり前の日常」をしっかり創っていきたいと思います。そのためには基本的な生活習慣を自分の中でしっかり作り、①目標にむけて頑張る力、②人とつながり行動する力、③自分をコントロールする力を、子どもたちにはつけてほしいと思います。

一人ひとりを見たときには、周りとの人間関係に不安感を強くもったり、勉強のことやクラブのことで悩んで、後ろ向きになったりと、自信のなさを強くもっていると感じてきました。しかし子どもたち一人ひとりには、自分の中にさまざまな力や可能性があります。その力を信じて、目の前に現れる壁にぶつかっても、そこでへこたれることなく乗り越えていこうとする力をつけてほしいと考えています。そして壁を乗り越えていくためには、仲間を信じて、お互いの思いを重ね合わせていくことで、集団としての力もついてくるものと考えています。これから出会う様々な人との関係の中で、多様な自分の力に気づき、



どんどん自分が創られていくものなのです。ですから、大いにチャレンジして、新たな自分と出会ってほしいと考えています。

申し遅れましたが、「庄内さくら学園中学校」の校長2年目となりました亀谷といたします。どうぞよろしくお願いいたします。また、このように今後とも定期的に「学校だより」を発行し、学校での様子や情報等をお知らせしていきたいと考えていますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

ただ新型コロナウイルス感染についてはまだまだ収束の見通しが立っていません、現在も大阪では、5月5日まで「まん延防止等重点措置」に指定されていますので、感染拡大防止対策を徹底しながら教育活動をすすめていかなければなりません。したがって「マスク着用」「手洗い、アルコール消毒」「換気」等に、十分気を使いながら、「コロナ禍での日常」を創りあげていくこととなりますので、ご協力をお願いします。

入学式の「歓迎の言葉」にみる『自治の力』

入学式での生徒会代表による歓迎の言葉は、本校スローガンを達成していくために生徒全員の力で創りあげていこうとの思いが満ち溢れていました。しかも、ノーペーパーでしっかり語りきる姿がありました。(圧巻!でした。)

こんにちは。庄内さくら学園中学校、生徒会代表、毛利天飛です。新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心より歓迎します。私たちは、みなさんと一緒に中学校生活を送れることを心待ちにしていました。中学生になった今、どんな気持ちですか。新しい学校生活に、ワクワク、ドキドキしている人、クラブ活動や勉強、小学校との違いに不安を募らせている人、一人ひとり気持ちは違うと思います。二年前、私も、そんな気持ちで入学式を迎えました。不安だったその気持ちは、たくさんの先輩方、先生方、そして友達に支えられて、前向きな気持ちに変わり、今では、毎日学校に来るのがとても楽しいです。だから大丈夫、必ず私たちがみなさんの不安な気持ちを取り除きます。



ここで、大切なことを二つ伝えます。ステージの上を見てください。一つ目は、学校スローガンである「一人ひとりが強い繋がりを持つ学校」です。強いつながりを持つ、というのは、一人ひとりがお互いのことを理解し、助け合うことです。私たちはこの学校スローガンをとても大切にしています。二つ目は、生徒全員がさくら中の生徒会の一員だということです。今日からみなさんもさくら学園中学校生徒会の一員です。生徒会活動は、行事だけではありません。何気ない日常の中で、思いやりと優しい心を持つ。これこそが本当に大切なことです。学校スローガン、生徒会活動のこと、この二つを心に刻んでほしいと思います。中学校には、たくさんの決まりがあります。すべてが自由なわけではありません。でも、一人ひとりがルールを守り、優しい心と思いやりを意識すれば、できることもどんどん増えていきます。今日から三年間、みんなで協力し、笑顔あふれる毎日を、続けて、繋いでいきたいです。そして、卒業するときに、この学校で良かったな、みんなと過ごせて良かったな、と思える学校を、生徒会全員でつくりあげましょう。よろしくお願いいたします。

生徒会代表 毛利天飛

「出会い」と「別れ」がありました。

新年度になると、また新たな出会いと別れが待っています。4月8日には、新しく庄内さくら学園中に来られた先生方の着任式があり、9日には、庄内さくら学園中を去られた先生方からのお別れのあいさつをもらう離任式がありました。

新しく庄内さくら学園中に来られた教職員



国語	松井 唯季 先生 (新規)
国語(支援)	山形 若菜 先生 (育児休業終了)
社会	黄瀬 雄也 先生 (大阪教育大教職大学院)
社会	木村 勇一 先生 (豊四中中より)
学校用務員	小島 佐恵子 さん (新規)
技家助手	奥間 照子 さん (新規)

…よろしくお願ひいたします。

庄内さくら学園中を去られた教職員



国語	渡邊 彰文 先生 → 豊中市立第十二中へ
社会	奥田 忠大 先生 → 豊中市立島田小教頭へ
数学	木下 義完 先生 → 豊能町立吉川中へ
理科	堂前 佳弘 先生 → 豊中市立第十八中へ
支援担	前田 聖子 先生 → 豊中市立第三中へ
英語	安藤 宏 先生 → 豊中市立第十八中へ
学校用務員	吉富初音さん → 豊中市立野田小(庄内小)へ
技家助手	廣瀬 雅代 さん → 退職

…お世話になりました。

新しい職場でも頑張ってください。